

令和2年度（第2期試験）

東北大学大学院教育学研究科博士課程

（前期課程・社会人特別選抜）

入学試験問題（小論文）

注 意

- 1 試験時間は120分。
- 2 問題紙は6枚（表紙を除く）、解答紙は4枚。
- 3 設問Ⅰ（1）（2）と（3）、設問Ⅱ（1）と（2）の解答はそれぞれ別の用紙に記入すること。

R2.2期 前期社会人（小論文） 1

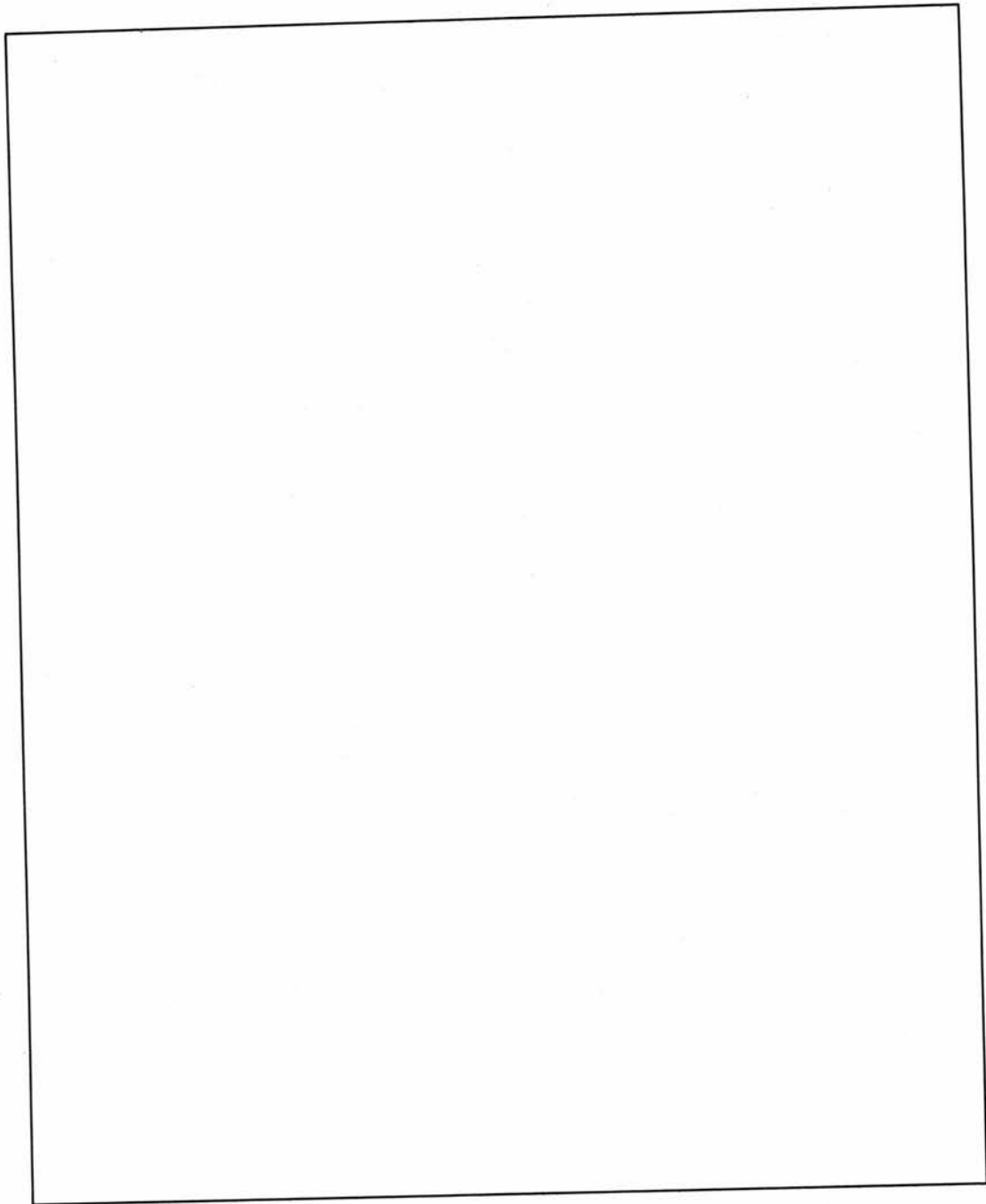
設問 I

次の文章は人間と政治の関係について述べられたものの一部である。本文を読み、問(1)~(3)に答えなさい。

- 15 (1)著者によれば、政治の達成すべき目的は何であり、それは人間に対してどのような働きかけをすることなのか。他の働きかけのあり方と比較して 200 字程度で述べよ。
- 10 (2)文中の下線部について、著者によれば、ここでいう「同情の仕方」の何が問題であり、どうあるべきなのか。本文の内容を踏まえ、100 字程度で述べよ。
- 25 (3)著者のいう意味での政治について身近な事例を挙げ (架空の事例でもよい)、こうした見方を持つことの利点と課題について述べよ。

ここに、当該文献の
43ページ、5行目から、
46ページ、最終行まで、
が、入ります。

ただし、
45ページ、12行目から14行目の、カッコとその内部
は削除しています。



(丸山眞男『政治の世界 他十篇』岩波書店、2014年より抜粋。一部改変。)

設問Ⅱ

以下の図表は自殺についての資料※である。これらに目を通し、問(1)～(2)に答えなさい。

- (1) 資料から読み取れる児童生徒の自殺の現状について述べなさい。
- (2) 児童生徒の自殺予防についてあなたの考えを述べなさい。

※

図1 厚生労働省 平成30年中における自殺の状況

(https://www.npa.go.jp/safetylife/seianki/jisatsu/H30/H30_jisatunojoukyou.pdf :

2020.1.14 確認)

図2 厚生労働省 平成30年(2018)人口動態統計月報年計(概数)の概況

(<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/geppo/nengai18/index.html> : 2020.1.14

確認)

表1・図3・表2 文部科学省 平成30年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の

諸課題に関する調査結果について

(https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/31/10/1422020.htm : 2020.1.14 確認)

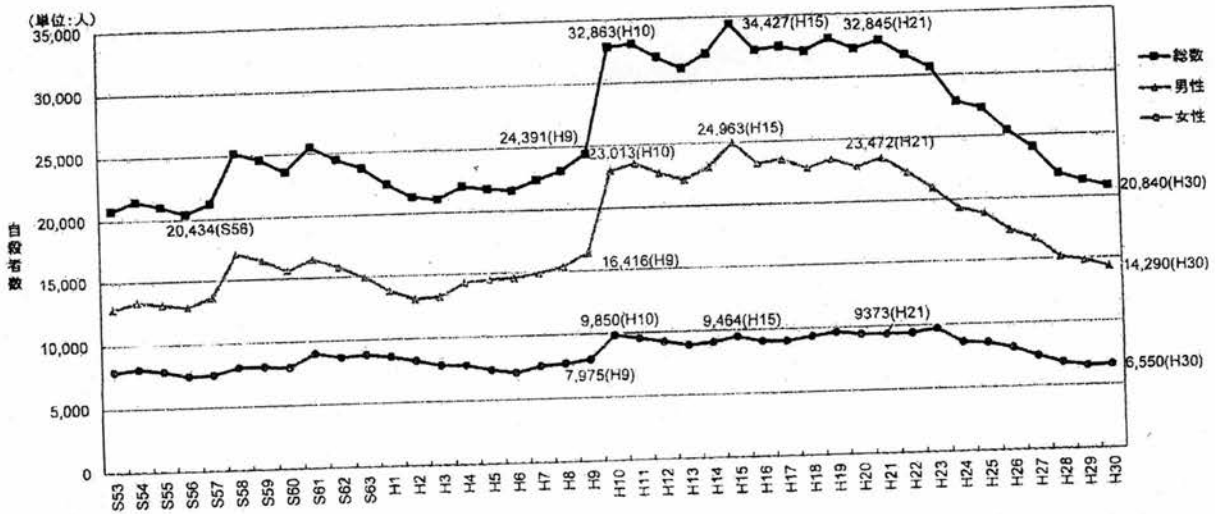


図1 自殺者数の年次推移 (全年代)

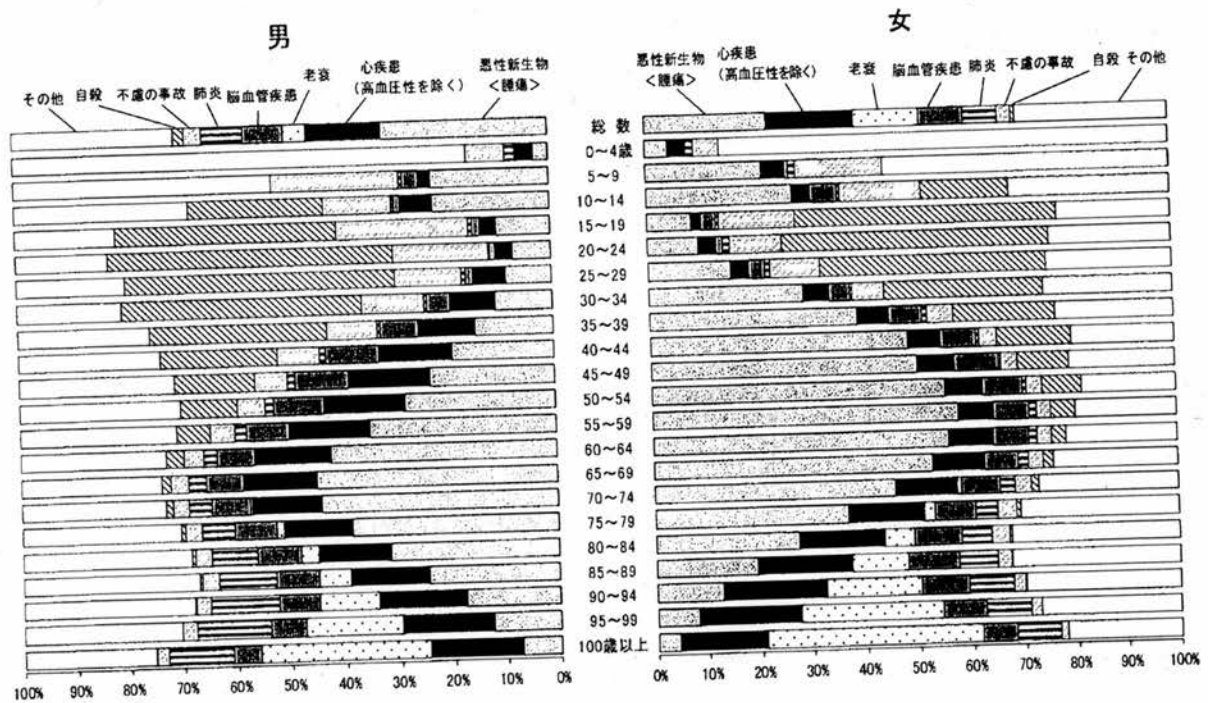


図2 性・年齢階級別にみた主な死因の構成割合 (平成30年)

表1 児童生徒の自殺の状況

(単位:人)

区分	S49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	元	H2	3	4	5	6	7	8	9	10
総数	277	290	288	321	335	380	233	228	199	237	189	215	268	170	175	155	141	121	159	131	167	139	143	133	192
小学生	-	-	-	10	9	11	10	8	8	6	12	11	14	5	10	1	5	5	3	4	11	3	9	6	4
中学生	69	79	72	89	91	104	59	74	62	83	66	79	110	54	62	53	35	43	68	40	69	59	41	41	69
高校生	208	211	216	222	235	265	164	146	129	148	111	125	144	111	103	101	101	73	88	87	87	77	93	86	119

区分	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
総数	163	147	134	123	138	126	103	171	159	137	165	156	202	195	240	232	215	245	250	332
小学生	2	4	4	3	5	4	3	2	3	1	0	1	4	6	4	7	4	4	6	5
中学生	49	49	37	36	35	31	25	41	34	36	44	43	41	49	63	54	56	69	84	100
高校生	112	94	93	84	98	91	75	128	122	100	121	112	157	140	173	171	155	172	160	227

- (注1)昭和51年までは公立中・高等学校を調査。昭和52年からは公立小学校、平成18年度からは国私立学校、平成25年度からは高等学校通信制課程も調査。
- (注2)昭和49年から62年までは年間の数、昭和63年以降は年度間の数である。
- (注3)平成30年度総数の内訳は、国立3人、公立257人、私立72人である。
- (注4)学校が把握し、計上したもの。
- (注5)小学校には義務教育学校前期課程、中学校には義務教育学校後期課程及び中等教育学校前期課程、高等学校には中等教育学校後期課程を含む。

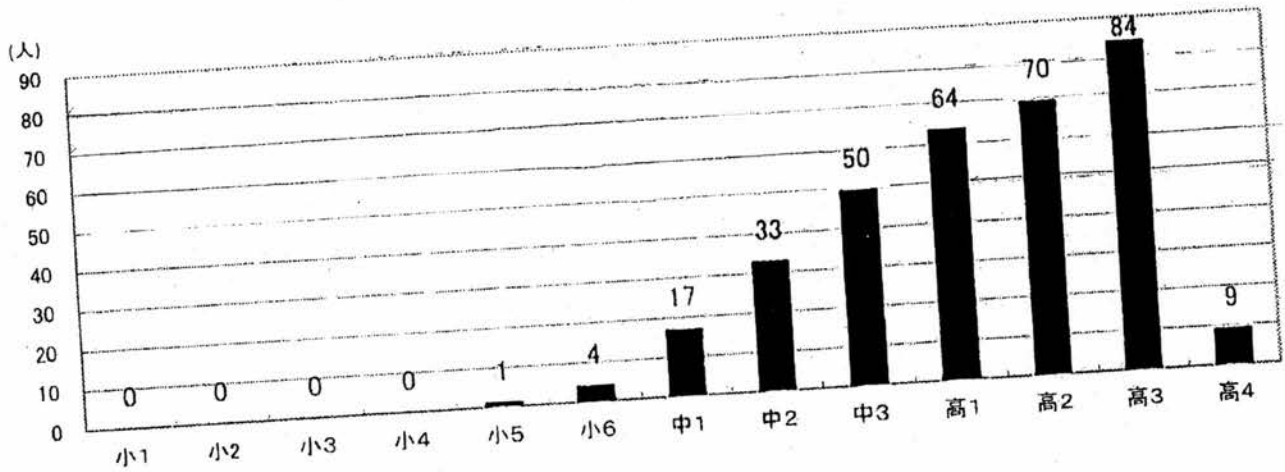


図3 自殺した児童生徒の学年別内訳(平成30年度)

表2 自殺した児童生徒が置かれていた状況（平成30年度）

項目	小学校		中学校		高等学校		計	
	人数 (人)	構成比 (%)	人数 (人)	構成比 (%)	人数 (人)	構成比 (%)	人数 (人)	構成比 (%)
家庭不和	0	0.0%	8	8.0%	33	14.5%	41	12.3%
父母等の叱責	0	0.0%	13	13.0%	17	7.5%	30	9.0%
学業等不振	0	0.0%	8	8.0%	9	4.0%	17	5.1%
進路問題	0	0.0%	10	10.0%	18	7.9%	28	8.4%
教職員との関係での悩み	0	0.0%	3	3.0%	2	0.9%	5	1.5%
友人関係での悩み (いじめを除く)	2	40.0%	6	6.0%	8	3.5%	16	4.8%
いじめの問題	0	0.0%	3	3.0%	6	2.6%	9	2.7%
病弱等による悲観	0	0.0%	4	4.0%	5	2.2%	9	2.7%
えん世	0	0.0%	3	3.0%	18	7.9%	21	6.3%
異性問題	0	0.0%	8	8.0%	14	6.2%	22	6.6%
精神障害	0	0.0%	4	4.0%	20	8.8%	24	7.2%
不明	3	60.0%	60	60.0%	131	57.7%	194	58.4%
その他	0	0.0%	9	9.0%	9	4.0%	18	5.4%

(注1) 調査対象：国公立小・中・高等学校

(注2) 複数回答可とする。

(注3) 構成比は、各区分における自殺した児童生徒数に対する割合。

(注4) 小学校には義務教育学校前期課程、中学校には義務教育学校後期課程及び中等教育学校前期課程、高等学校には中等教育学校後期課程を含む。

(注5) 当該項目は、自殺した児童生徒が置かれていた状況について、自殺の理由に関係なく、学校が事実として把握しているもの以外でも、警察等の関係機関や保護者、他の児童生徒等の情報があれば、該当する項目を全て選択するものとして調査。

(注6) それぞれの項目については、以下の具体例が参考。

- ① 家庭不和 : 父母や兄弟等との関係がうまくいわずに悩んでいた。等
- ② 父母等の叱責 : 父母等から叱られ落ち込んでいた。等
- ③ 学業等不振 : 成績が以前と比べて大幅に落ち込んでいた。/授業や部活動についていけず悩んでいた。等
- ④ 進路問題 : 卒業後の進路について悩んでいた。/受験や就職試験に失敗した。/面接等で志望校への受験が困難である旨を告げられた。等
- ⑤ 教職員との関係での悩み : 学級担任との関係がうまくいわずに悩んでいた。/教職員から厳しく叱責を受けていた。等
- ⑥ 友人関係での悩み(いじめを除く) : 友人とけんかをし、その後、関係がうまくいわずに悩んでいた。/クラスになじむことができずに悩んでいた。等
- ⑦ いじめの問題 : いじめられ、つらい思いをしていた。/保護者から自殺した児童生徒に対していじめがあったのではないかと訴えがあった。/自殺した児童生徒に対するいじめがあったと他の児童生徒が証言していた。等
- ⑧ 病弱等による悲観 : 病気や病弱であることについて悩んでいた。等
- ⑨ えん世 : 世の中を嫌なもの、価値のないものと思って悩んでいた。等
- ⑩ 異性問題 : 異性問題について悩んでいた。等
- ⑪ 精神障害 : 精神障害で専門家による治療を受けていた。等
- ⑫ 不明 : 周囲から見ても普段の生活の様子と変わらず、特に悩みを抱えている様子も見られなかった。等

令和2年度 (第2期試験)

東北大学大学院教育学研究科博士課程

(前期課程・一般選抜および社会人特別選抜および
外国人留学生特別選抜)

臨床心理学コース

入学試験問題 (専門科目)

注 意

1. 試験時間は120分。
2. 問題紙は1枚(表紙を除く)、解答紙は5枚。
3. 解答は所定の用紙に記すこと(設問Ⅰ～設問Ⅲの解答は各1枚の解答紙を用いて、設問Ⅳの解答は2枚の解答紙を用いて、(1)～(4)を1枚目、(5)～(8)を2枚目に記入すること)。

R2.2期 前期一般・社会人・外国人(臨床)

.....臨床心理学コース.....

【設問Ⅰ】 心の健康教育の意義について述べなさい。 (20点)

【設問Ⅱ】 認知行動療法におけるケースフォーミュレーションについて、その進め方および留意点について述べなさい。 (20点)

【設問Ⅲ】 ステップ・ファミリーの家族支援において留意すべきことを、例を挙げながら3点にまとめて述べなさい。 (20点)

【設問Ⅳ】 以下の用語をそれぞれ5行程度で説明しなさい。 (各5点)

(1) ICD-11

(2) パーンアウト症候群

(3) 社会的自己

(4) 同化と調節

(5) ドナルド・W・ウィニコット (Donald W. Winnicott)

(6) エンプティ・チェア

(7) MMPI

(8) 剰余変数

(以下余白)